（様式第１号）（第２条 16 号関係）

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

１　評価機関

名称：一般社団法人しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市上田 180-6
評価実施期間：　令和７年７月１５日から　令和７年２月８日 ＊契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） Ｂ１６０２３　　Ｂ２０２００７３	

２　福祉サービス事業者情報（令和８年２月現在）

事業所名：第二明星学園 （施設名）		種別：障害者支援施設
代表者氏名：園長　中澤　福雄 （管理者氏名）		定員（利用人数）：　　６０名
設置主体：社会福祉法人明星会 経営主体：社会福祉法人明星会		開設（指定）年月日： 昭和５４年　４月　１日
所在地：〒399-2561　長野県飯田市駄科 2191 番地 1		
電話番号：0265-26-9456		FAX 番号：0265-26-9094
電子メールアドレス：myojo-gakuen-iida@clock.ocn.ne.jp		
ホームページアドレス：https://myojo-gakuen.or.jp/		
職員数	常勤職員：　　４７名	非常勤職員　　１８名
専門職員	（専門職の名称）　　名	
	社会福祉士　　２名	社会福祉士　　１名
	介護福祉士　　１４名	介護福祉士　　２名
施設・設備の概要	（居室数）個室５０室	（設備等）食堂２室
	二人部屋６室	浴室２室

３　理念・基本方針

(1) 法人理念

『みんな幸せになりたい　あなたも私も』

(2) 憲章

明星学園は、 本当の気持ちを伝えられずに困っている知的障がい・自閉症の方に、「パーソンセンタード（本人中心）」を基本とした、行動すべてが発信であるという「お心主義」の信念で、「意志決定支援」を実践する、あなたも、私も幸せになる場所です。

(3) 行動基準

①笑顔で明るいあいさつを、自分から先にします。

②利用者の目線で安全を考え、健康や環境に異常を感じたら直ぐに報告し対応します。

③どんな小さな発信も受け止め、対等、肯定の姿勢で意志決定をサポートします。
④職員同士で報・連・相を行い、お互いを認め、助け合うチーム支援をします。
⑤家族や地域に情報発信し、情報共有を行います。
⑥関わる全ての人に「ありがとう」「助かったよ」を伝えます。

※この行動基準を全職員が実践することで、法人理念に近づくものと考えており、法人が求める人物像であるとも言えます。

(4) 明星学園運営方針

「明星学園１０年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいが重くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション技術」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参への支援」を行っていきます。

また、様々な障がいと多様なニーズを持っている利用者に対して、異なる価値の共存を認め合う「共存社会の実現」に向けて、利用者一人ひとりの「どんな暮らし」のために「何が必要か」を包括的に考え、求められる活動支援を行っていきます。

家族会との連携、外部機関との連携を図り、支援サービスの向上をめざしてまいります。

４　福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

○日中活動（仕事や活動）として、アクリルたわし、ひのきの入浴剤、クッション、ヘアアクセサリーなどの生産品を作成し外部販売を行ったり、空き缶つぶしなどの軽作業やアート活動、アロマセラピー、運動、音楽、ドライブなど様ざまな選択肢を用意し、「癒し」「ゆとり」「生きがい」を心がけながら充実した生活が過ごせるよう支援しています。

○明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等研修を積極的に行い、毎月、理学療法士（外部講師）による運動機能回復などを、言語聴覚士（外部講師）による嚥下などの食事支援を指導して頂くことで、職員の資質向上と支援力の強化を図っています。

○開かれた施設を目指して、ブログを積極的に活用し、利用者の日常的な活動や職員紹介・日常エッセなどを掲載し、施設の様子を随時お伝えしています。
また、年２回発行の広報誌「プリズム」を地元地域に配布したり、回覧板に乗せて頂いたり、学校関係、役場、施設関係などにも配布し、幅広く広報しています。

５　第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	３回（令和４年度）

６　評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

①自然災害など災害や安全面で、利用者が安心して生活できる環境づくりが行われています。

○自然災害、感染症ＢＣＰ計画が策定され、利用者が安心・安全に生活が送れるように取組んでいます。

○法人（施設）は、緑豊かで静かで落ち着いた場所に設置されています。地震等の災害時には、地域の避難場所に指定されており、備蓄品も保管され、有事の際には地域住民に開放されることになっています。

②明星学園グランドゼザイン（中・長期計画）には、構想の基本的な考えと、１０年間の取組むべき方向性が具体的に記載されています。

○現状と課題に、今まで保護を中心とした支援から、「自己選択・自己決定」による支援への大きな方向転換が記載され、その考え方に向けての具体的施策を示しています。

○法人の基本理念には、パーソンセンター（利用者中心）の考え方を据え、職員はその理念に向けた支援を実践していくことを求めています。

○利用者の個性や持つ力を発揮できる支援を探り「利用者尊重」の支援に繋がる実践をしていくこと、としています。

○基本理念は、「お心主義」として、利用者主体への取組みについて、具体的で理解し易い内容で記載されています。また、利用者への接し方・関り方についても表記されています。

③職員は支援者として、利用者が何をできるのかの実現に向け支援しています。

○日中活動において、利用者が地域ニーズに対して、自ら選び決定し、地域参加ができる具体的方策について提案されています。利用者一人ひとりが、やりたいことを見つけ、納得されるプログムを一緒に考え、楽しみとなる個別支援計画を作成しています。

○日中活動は、地域との繋がりを大切にした内容を取り入れ行っていて、そのための住民の理解の取組みを行っています。

④日中活動は、地域との関りを含め、利用者一人ひとりの力が発揮できる内容になっています。

○地域とのつながりは、入所されている利用者が、地域で生活できる力をつけてきています。施設外の生活介護事業所体験をしたり、グループホームの見学や体験利用をしています。他の事業所と協力し合い、利用者の持てる力を認め伸ばす支援が行われています。

○日中活動のプログラムは、本人の「やりたいこと・したいこと」を大切にして、音楽療法・アート活動・運動療法・趣味活動等、多彩にプログラムを用意して、外部専門講師の協力を得て実施されています。

⑤法人が示す理念の「利用者・支援者の幸せのために」実現に向けた取組みを行っています。

○みんなの幸せのために、事業計画は「臨時編」「永久編」と年度事業計画が作成されています。

○事業計画は、理念、憲章、行動基準、就業規則、各種規程等が包括的に記載され、図や手順表等を活用し、誰が見ても分かるような計画書になっています。業務計画は、利用者、職員の幸せ実現のためのガイドラインとなっています。

◇特に改善が必要と思われること

①施設の衛生環境の整備について検討をお願い致します。

○施設内は、利用者が生活する上で心配や危険がないように工夫され、安全性が確保されています。建物内には、利用者の「よだれ」「排せつの失敗跡」が見られます。こまめに処理されていますが、見学時が冬季のためか、施設臭が気になります。施設内に長くいると気づきにくくなりがちですが、爽やかで心地よい建物環境に向けた取組みをお願い致します。

②職員の事業所経営・運営内容を含めた意識向上に取組まれることを期待致します。

○今回、前回等で実施した、福祉サービス第三者評価の「職員自己評価票」のチェック内容では、内容評価項目（具体的支援項目）の理解が深く、支援への積極的な取組み姿勢が感じられ

ました。しかし、共通評価項目のチェック内容からは「わからない」「知らない」の回答が非常に多くなっています。（職員自己評価集計表参照）利用者支援の向上には、評価票「共通評価項目」の内容理解は重要です。今後の取組みにおいて、法人・事業所の経営・運営内容（共通評価項目）への理解を深めて頂き、明星学園が示すように「あなたも私も幸せになる」大きな目標に向かい邁進されることを望みます。

7　事業評価の結果（詳細）と講評

〇共通評価項目(別添 1)

〇内容評価項目(別添 2)

8　利用者調査の結果

〇聞取り方式の場合(別添3－2)

9　第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添４）